

～子どもたちは今・・・～



たまご組(0・1 歳児)

7月に持ち帰った月間絵本「にゃんころたいそう」お家でも楽しんでいますか～？

絵本の作者である齋藤 槇さんは、「ペンぎんたいそう」は午前中に元気よく。「かめかめたいそう」は午後にのんびりと。「にゃんころたいそう」は夜にごろごろしながら体操して楽しめるように…」と願いを込めて作られたそうです。幼稚園にはこの3冊の絵本が揃っています。1歳児がネコの真似をして、身体をぎゅーっとのばしたり、お尻をあげてフリフリしていると…0歳も興味を示し、つかまり立ちやハイハイで近づきます。手足をバタバタ動かしたり、1歳の動きを喜んで見ては、「いっしょにやりたい！」や“楽しい！”を表現しています。

本物のカメの動き方を見せてあげたいな！と幼稚園で育てている“カメのかめこ”を、たまご組に連れてきた日がありました。首を縮めたり、ひっくり返る様子に興味津々！本物の動きを観察し、真似し、賑やかな時間を過ごしました。暑い夏も体操を楽しみ、元気に過ごしていた子どもたち。9月も引き続き絵本の世界を通して体を動かすことを楽しみたいと思います。



ことい組(2 歳児)

猛暑のため戸外で遊ぶことができない日が続きました。でも、室内でゆったりと過ごす中で、絵本の世界をたっぴりと楽しんでます。お化けの絵本『おばけなんてないさ』『はやおきおばけ』『うきうきおばけ』『おまつりおばけ』を読むと「もう一回読んで」「もっとみたい」と夢中です。大好きになったお化けを作ってみよう！思い思いの色のクレヨンで色付けして、目と口を好きなところに貼って自分のお化けが完成しました。もっとやりたいと次の日も次の日も、大きな紙にぐるぐる丸を描いたり、色を重ねたりしてクレヨン遊びを楽しみました。

デッキでイモムシを発見して、お部屋に連れて行くと「だーれかな？」「動いてるよ！」と興味深々です。友だちや保育者と一緒に図鑑を眺めて、同じ種類のイモムシを探したり、スイカやゴーヤ、サツマイモの葉っぱを食べさせて「スイカ食べたよ！」と嬉しそうに顔を見合っていました。また、4月からずっとダンゴムシ、カタツムリ、カブトムシに触れている子どもたちは、色々なご飯をあげて「食べるかな？」「嫌いかな？」「いっぱい食べたね。」などと話したり、カタツムリのうんちの色の違いに気付いたり興味関心が深まっています。9月は、季節の移り変わりを感しながら、秋の虫を探したり、伸び伸び体を動かして自然と触れ合って遊び、ワクワクする体験を楽しみたいと思います。



すみれ組(3 歳児)

外でたくさん走って体を動かすことが大好きなすみれ組ですが、今年の夏は外遊びだけでなく、お部屋の中での遊びも充実させることができました。

8月の絵本『ジャングルバス』から発展したバスごっこでは、みんなで相談して交通ルールを決めたり、絵本に登場するユーモアあふれる動物たちをお面やオブジェで表現してみたりしました。バスに乗車してくる“ナマケモノのおばあさん”を制作しお部屋に飾ると、達成感もあり大喜び！すみれ組の名札も付けてあげました♪

いよいよ第2保育期が始まりますね。今楽しんでいる遊びを継続しながら、子どもたちの「もっとこれがしたい！」の声を大切に、一緒に新しい挑戦を楽しんでいきたいと思っています。そこで子どもたちが今期待に胸を膨らませているのが、クッキングです。ほし組がクッキングをする姿に憧れ、自分たちもやってみたい！と心を動かしています。朝や夕方は少し涼しさを感じられるようになってきました。少しずつやってきた秋を感じながら、心と体をたくさん動かし、またみんなと会えた喜びを感じてほしいと願っています。



ひつじ組(4 歳児)

預かり保育のひつじ組は、7 月に引き続き、夏休み中もぐんぐん生長しているゴーヤを観察しています。なんと去年のひつじ組が植えた“ど根性ゴーヤ”も立派に育ち、大きな実をつけました！そして、収穫したゴーヤを給食のメニューに入れてもらい、みんなで味わいました。また、たくさん収穫できた時には、販売コーナーに出品し「買ってくれるかな」とドキドキわくわくする様子もありました。収穫したゴーヤが自分たちだけでなく、たくさんの人に食べてもらい、嬉しそうな姿がありました。

また、小さいのに黄色くなってしまうのはどうしてなのか、熟した黄色いゴーヤの中の赤い種はどんな味なのかなど、ゴーヤを観察して行く中でいろいろな「どうして？」が膨らんでいきました。そして、熟したゴーヤの赤い種を食べてみたところ、「甘い！」と驚く様子がありました。自分たちで育て、収穫して味わう体験をすることができました。

いよいよ第2保育期が始まり、7月から収穫してきたブルーベリーでジャムづくりのクッキングをしていきます！9月からもクッキングを通して、収穫して味わう体験がつながっていき、「どうして？」「やってみたい」という気持ちが膨らんでいってほしいと思います。



ほし組(5 歳児)

本格ピザクッキングや絵本『ねこピッツァ』を読んでから、「ピザ屋さん」開店に向けて「ドリンクバーも作ろうよ！」「にゃおんペイを作ろう！」と自分たちでアイデアを出し合い、どんな風に作るのか、開店したときの役割はどうするのかなど、話し合いを通して進めていくことができました。

さあ、いざほし組のピザ屋さんも開店へ！お店が開くとすみれ組やひつじ組の子どもたちも遊びに来てくれて大繁盛！「何名様ですか？」「ツナマヨコーンピザ、2つ入ったよ！」と、店員さんになりきって声を掛け合いながら接客するほし組のみんな、とっても素敵でしたよ！また、メニュー表に描かれたピザはどれも子どもたちが話し合って決めたもの。トッピングも皆ではさみを使ったり色を塗ったりしながら手作りしました！子どもたちのアイデアに溢れたピザは、まるで本物のように美味しそうです！

そして、ピザ屋さんを楽しむほし組の姿を見て、すみれ組やひつじ組も「どうやってるのかわりたい！」「近くまで見に行ってもいいかな？」とワクワクが止まらない姿も。みんなの“楽しい”気持ちが広がり、笑顔もたくさん溢れる時間となりました。

第2保育期では本物のピザを作っていきますよ。これからもみんなと話し合い、協力しながら色々な活動を楽しんでほしいと思っています。

